

令和3年度 第4回
首里城公園管理体制構築検討委員会

【資料3】防災センター機能の再編等（まとめ）

・令和3年度は、以下を前提に、防災センター機能の再編等の検討を行った。

■正殿単体完成時

・正殿等の建築物の特性や城郭等に囲われた敷地の状況等を踏まえ、城郭内(国営公園)と城郭外(県営公園)が一体的に機能する体制を構築するものとする。

※国営・県営の管理運営・防火管理に関する業務の枠組みは別途検討する。

・主要エリアごとに必要な防災・防火対策(ハード・ソフト)が行われるものとする。

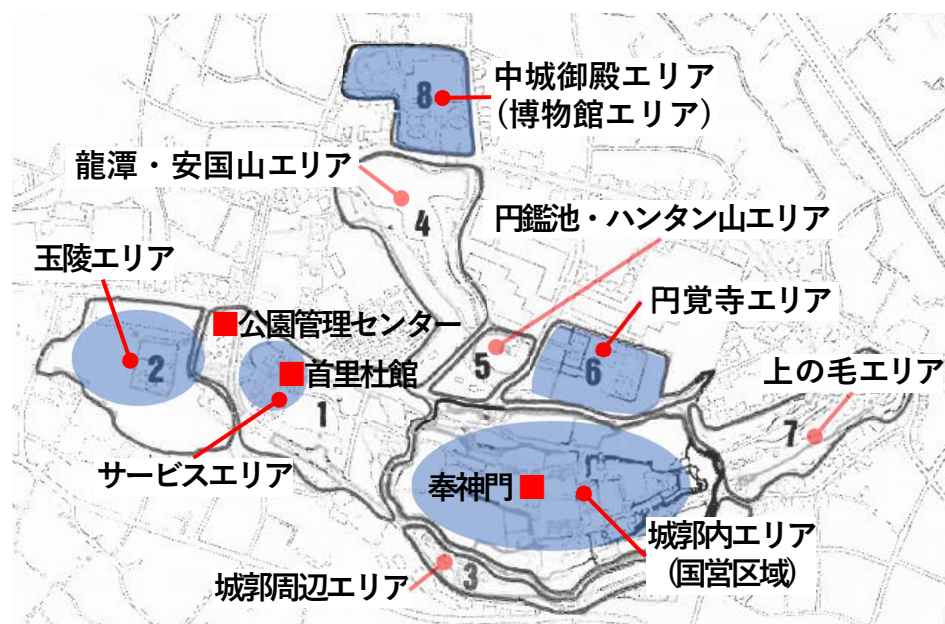
※中城御殿エリアは、防火・防災対策の強化を含め、基本計画の改定を検討している。

<正殿単体完成時の施設等の整備状況(予定)>

・城郭内：正殿が完成予定である。※正殿以外の施設(北殿・南殿等)は未整備。

・円覚寺エリア：三門が完成予定である。※当該エリアの防災センター機能は首里杜館で対応予定。

・中城御殿エリア：一部の施設が完成予定である。※当該エリアに防災センター機能を設ける予定。



首里城公園のエリアの概要

○城郭内エリア

首里城公園の外郭内の国営公園(有料・無料)区域。

○中城御殿エリア

中城御殿の復元を予定している区域。

○円覚寺エリア

史跡円覚寺跡の区域。

○県文化財エリア

円覚寺エリアのほか県文化財課が管理する守礼門や弁財天堂、城郭(外郭)、城門なども含めた区域。

○玉陵エリア

世界遺産「玉陵」を中心とした那覇市管理の区域。

首里城公園の防災センター機能

■奉神門(城郭内)

■首里杜館(城郭外)

■公園管理センター(城郭内・城郭外)

図 首里城公園のエリア区分図

※首里城公園基本設計(昭和63(1988)年3月)沖縄県土木建築部/p29に加筆

令和3年度は、正殿単体完成時の防災センター機能の役割分担・指揮命令系統の考え方を以下のとおり、整理した。次年度以降、詳細な初動対応（初期消火、避難誘導等）や風水害や地震災害等の場合における考え方の検討を行う。

<正殿単体完成時の防災センター機能の役割分担・指揮命令系統の考え方（案）>

【昼間・夜間 共通】

- ・感知器の作動から現場の確認、消防への通報（非火災/本火災）、初期消火は、一連の初動対応であり、**各エリアで対応**※1することを基本として、必要な人員を各エリアに配置する。
- ・**他のエリアは**、状況に応じて可能な範囲で、初期消火や避難誘導等の**応援**を行う。
- ・**公園管理センター**は、公園利用者の避難誘導や日常の防災対応※2など**公園全体**※3の**防災対応**を行う。

【夜間】

- ・**夜間は、奉神門で対応する者の役割が重要**であり、現場の警備員・監視員等への指示や消防への通報、モニター監視等において迅速かつ的確な判断が求められる。
⇒ **初動対応の指揮・判断が可能な人員を城郭内に配置し、城郭内の体制強化**を図る。

【昼間】

- ・**昼間は、初期消火と避難誘導を同時に実施**する必要があり、**対応に適した人材は異なる**。
⇒ 初期消火、避難誘導に必要な人員を踏まえ、各人へ求める役割や全体の配置を検討する。
- ・敷地特性から**公園全体での避難誘導も重要**であり、発災状況等に応じた判断が求められる。
⇒ **公園管理センターは、平常時・非常時ともに公園全体の状況把握・対応を担う**ものとする。

※1 **各エリアで対応**：城郭内で発災の場合は奉神門、城郭外で発災の場合は首里杜館がそれぞれ初動対応の指揮命令の拠点とし、状況に応じて、公園管理センターへ引き継ぐ。昼間は、公園内の各所に警備員等が配置されていることから、発災場所付近の警備員等が初期消火や避難誘導等を行う。

※2 **日常の防災対応**：自衛消防隊の整備・訓練、日々の防災警備・点検、関係機関との情報共有など

※3 **公園全体**：整備予定の中城御殿エリア、円覚寺エリア等については、今後、詳細を検討する。

正殿単体完成時の防災センター機能の役割分担・指揮命令系統の考え方を踏まえ、防災センター機能の向上の考え方を以下のとおり、整理した。次年度以降、設備等の詳細の検討を行う。

- ・首里城正殿の防火対策（令和3年3月とりまとめ）において、**正殿及び奉神門の防災・防火設備の機能強化**が図られることとなっている。

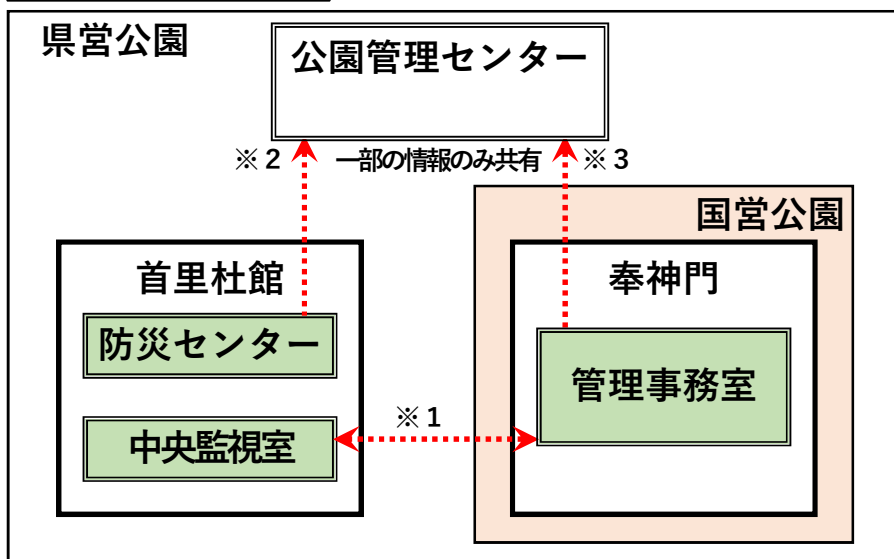
○公園全体の統括機能の強化

- ・**首里城公園管理センター**は、首里城公園全体の指揮統制を円滑に行うことができるよう、**城郭内・城郭外の防災・防火設備等の情報の確認が可能**な設備等を整備し、**機能強化**を図る。

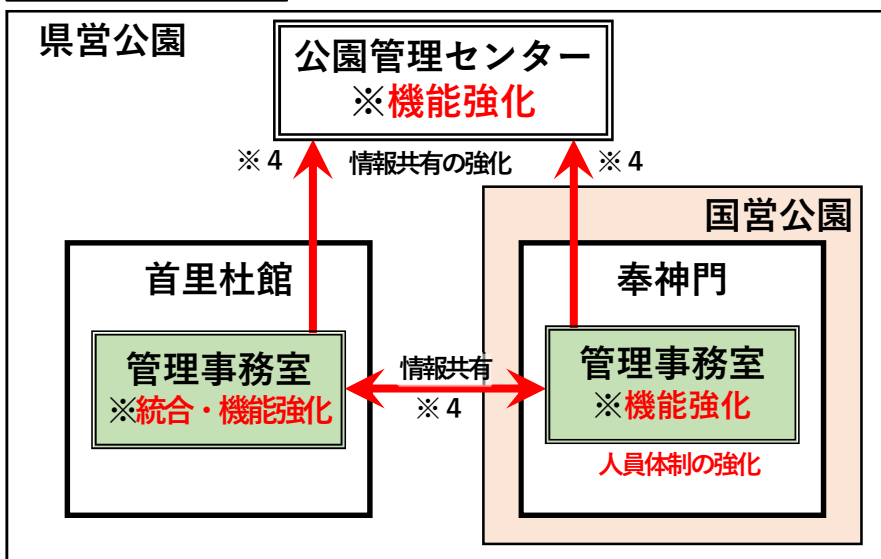
○県営公園の防災センター機能の強化

- ・**城郭外**の**首里杜館**の**防災センター**及び**中央監視室**を統合した上で、**機能強化**を図る。

令和元年10月時点



正殿単体完成時



※1：首里杜館、奉神門には、国営公園・県営公園それぞれの中央監視装置が設置されている。（双方向の設備の操作・監視等が可能）

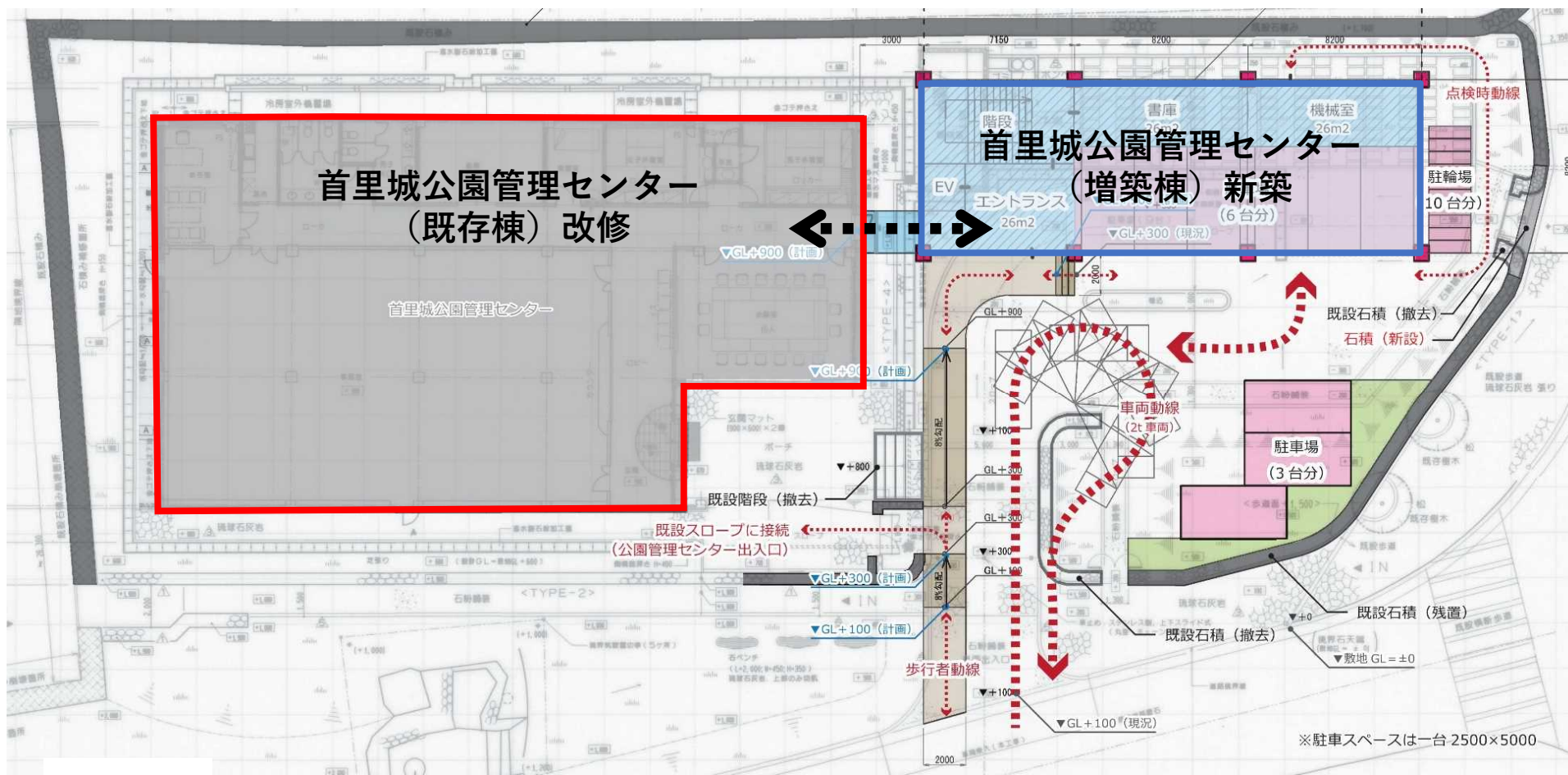
※2：公園管理センターには、県営公園の火災受信盤（副）、監視カメラモニター、放送設備（スピーカー）が設置されている。

※3：公園管理センターには、国営公園の監視カメラモニター（一部のみ）、放送設備（スピーカー）が設置されている。

※4：防災センター機能の連携（情報共有）に必要な設備等（火災受信盤、監視モニター等）の詳細は国・県で調整の上、今後、検討する。 **4**

<公園全体の統括機能の強化の考え方(案)>

- ・城郭内・城郭外の各種情報を集約する設備等を備え、公園管理センターで公園全体の状況把握及び対応が可能な体制を構築する。

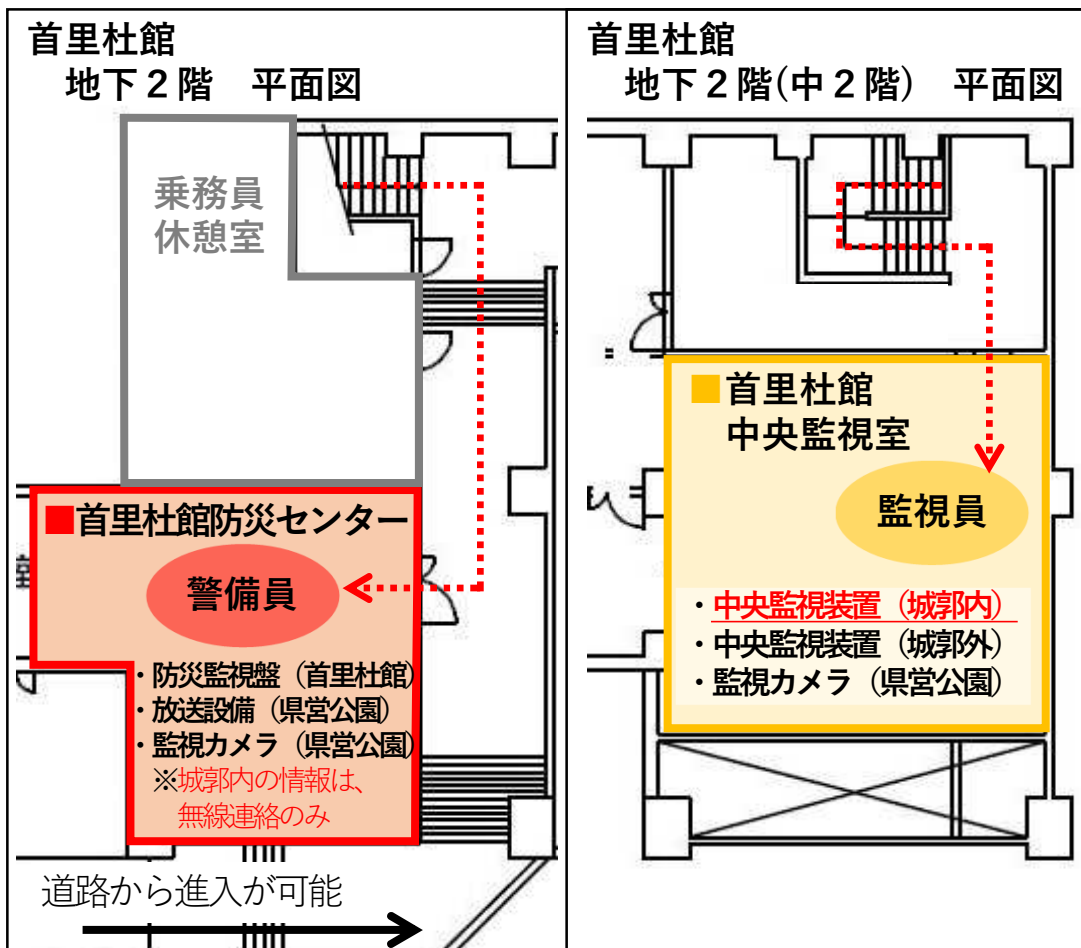


首里城公園管理センター 配置図(案)

＜首里杜館の機能強化の考え方（案）＞

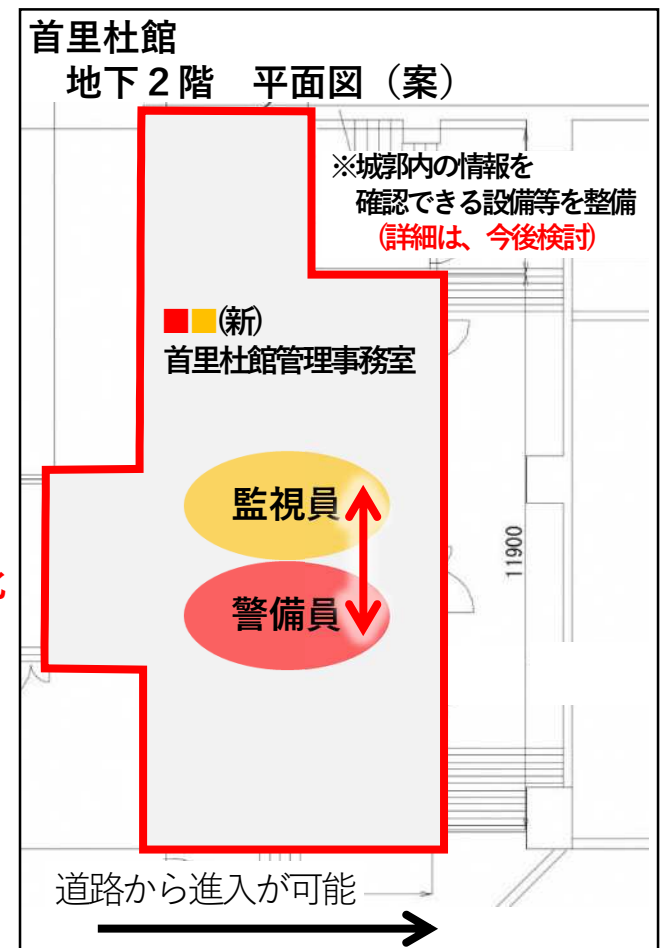
- ・警備員・監視員の常駐場所を統合し、城郭内の情報を城郭外でも確認できる設備等を備えて、城郭外の監視体制及び城郭内への迅速な応援体制を構築する。

令和元年10月時点



統合・機能強化

正殿単体完成時



首里城公園の防災センター機能の関係図（案）（正殿単体完成時）

【第4回委員会時点（案）】

正殿単体完成時に向けて、首里城公園の防災センター機能を以下のとおり、機能強化等を行う。

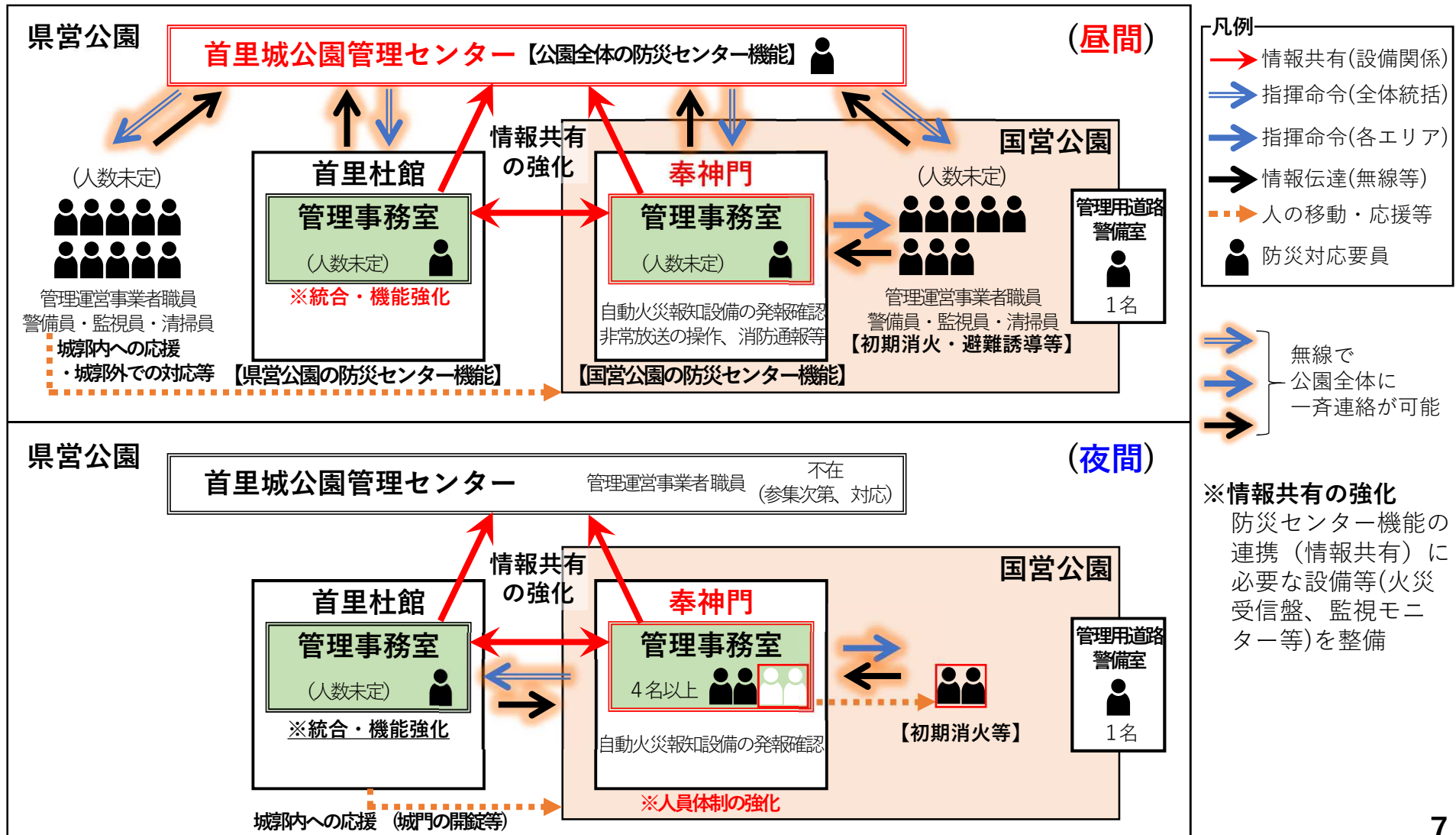
【昼間・夜間】公園管理センター、奉神門、首里杜館の**情報共有を強化**する。

【夜間】**城郭内の人員体制を強化**し、城郭内で発災の場合、**奉神門を中心とした指揮命令**とする。

正殿単体完成時

※城郭内で火災が発生した場合の対応等

※消防計画の対象範囲、自衛消防隊の編制、各エリアの配置人員、各人の詳細な役割・職位等は、初期消火・避難誘導等の具体的な対応や地震等の他の発災での対応を踏まえて、今後検討予定。



<参考> 首里城公園の防災センター機能の関係図(令和元年10月時点) 【第4回委員会時点(案)】

首里城公園には、国営公園と県営公園それぞれに防災センター機能(奉神門、首里杜館)があり、公園全体の防災センター機能として、国営公園・県営公園共通の公園管理センターがある。

令和元年10月時点の首里城公園の防災センター機能の関係図は以下のとおりである。

令和元年10月時点 ※城郭内で火災が発生した場合の対応等

